



飲料サブスク

BottleMate

マイボトルを習慣に



小宮山 柳沼 大石



ペットボトルとマイボトルを
1年間使い続けることで
CO2の排出量はどのくらい変わる？



出典：環境省「リユース可能な飲料容器およびマイカップ・マイボトルの使用に係る環境分析について」

■ プラスチック削減が求められている

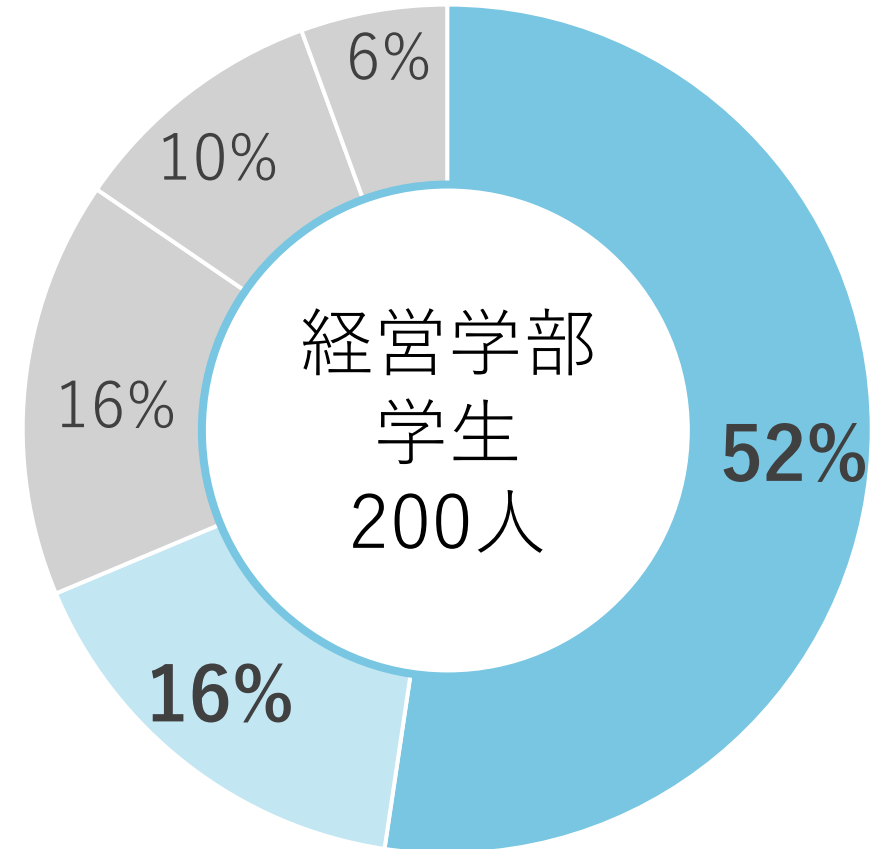
マイバッグの持ち歩きは当たり前になっているのに
マイボトルではなく

ペットボトルを使う人が多いのはなぜ？

■ 実態調査【ペットボトル利用率】

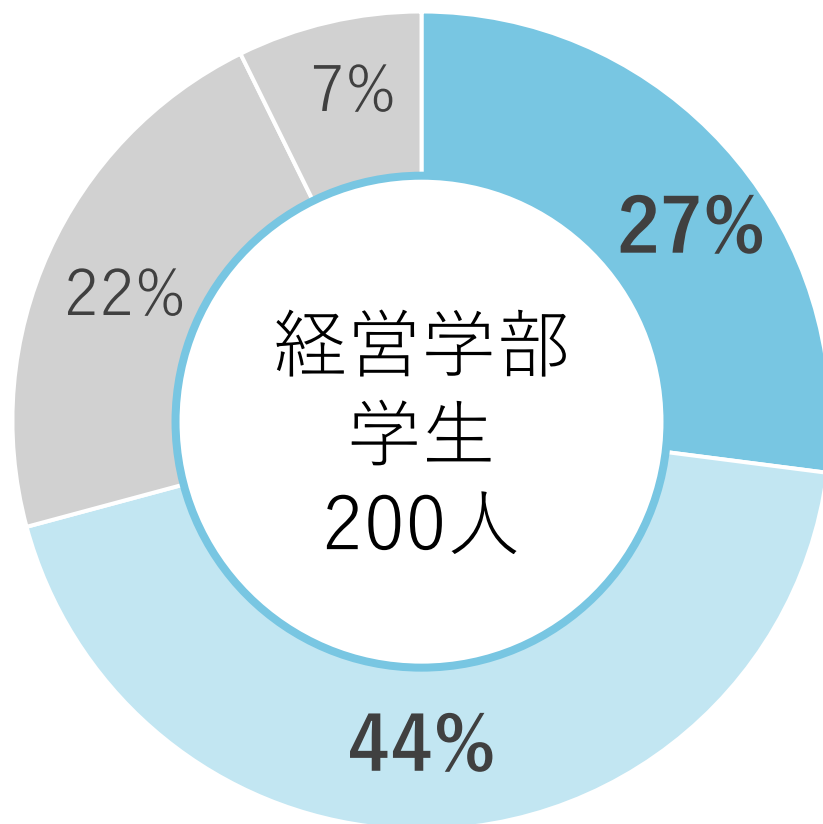
学生の**約70%**が日常的に
ペットボトルを利用している

大学に設置されてる自動販売機は
年間**約18万本**購入されている



- ほぼ毎日
- 週に3〜4日
- 週に1〜2回
- 月に数回
- ほとんど利用しない

■ 実態調査【ペットボトル削減への関心】



■ ある ■ 少しある
■ どちらともいえない ■ ない

学生の**約70%**がペットボトルの削減に関心を持っている

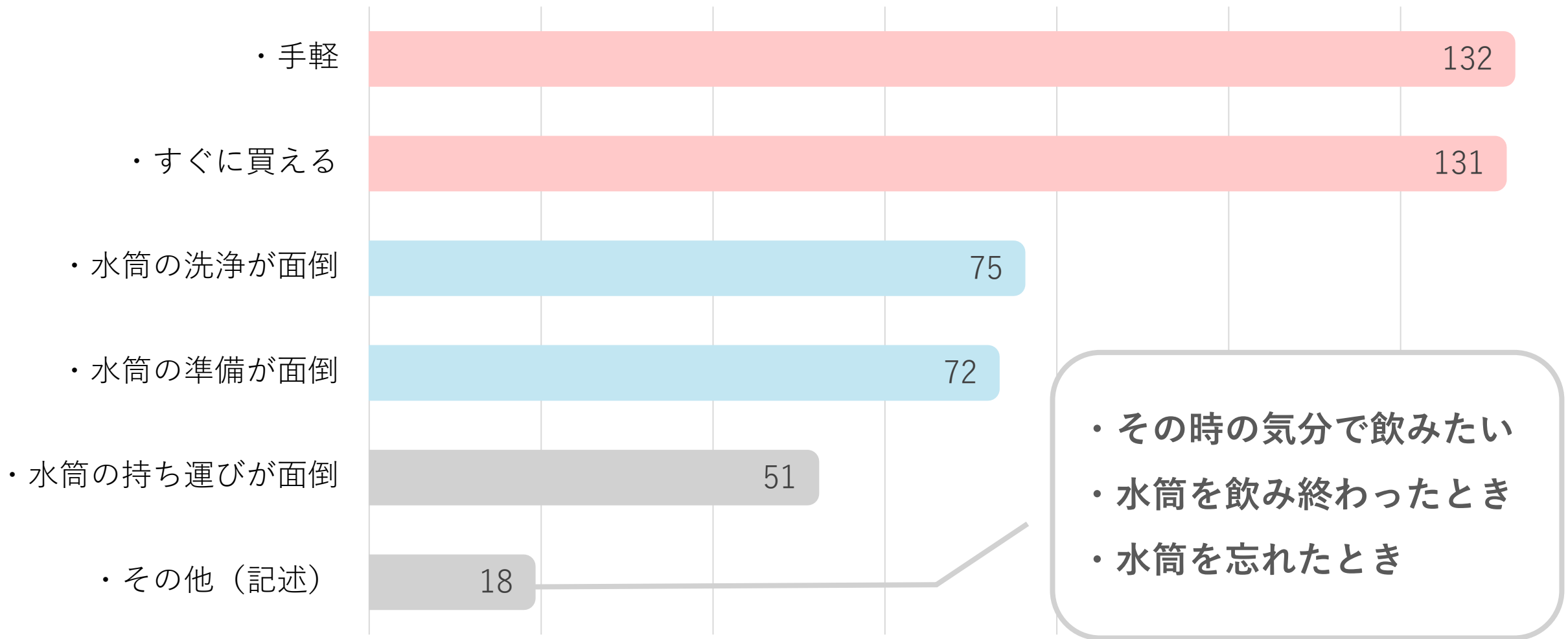
■ 実態調査

ペットボトル削減に興味はあるものの
実際には行動に
移せていない人が多い

■ ある ■ 少しある
■ どちらともいえない ■ ない

■ ほぼ毎日 ■ 週に3～4日
■ 週に1～2回 ■ 月に数回
■ ほとんど利用しない

■ ペットボトルを使う理由（複数選択可）



これらの悩みを解決するために・・・



■ サービスのキーワード

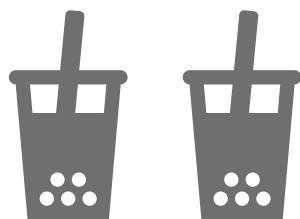
マイボトル



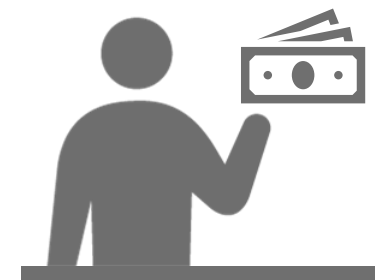
マイボトル
洗浄機



種類が豊富



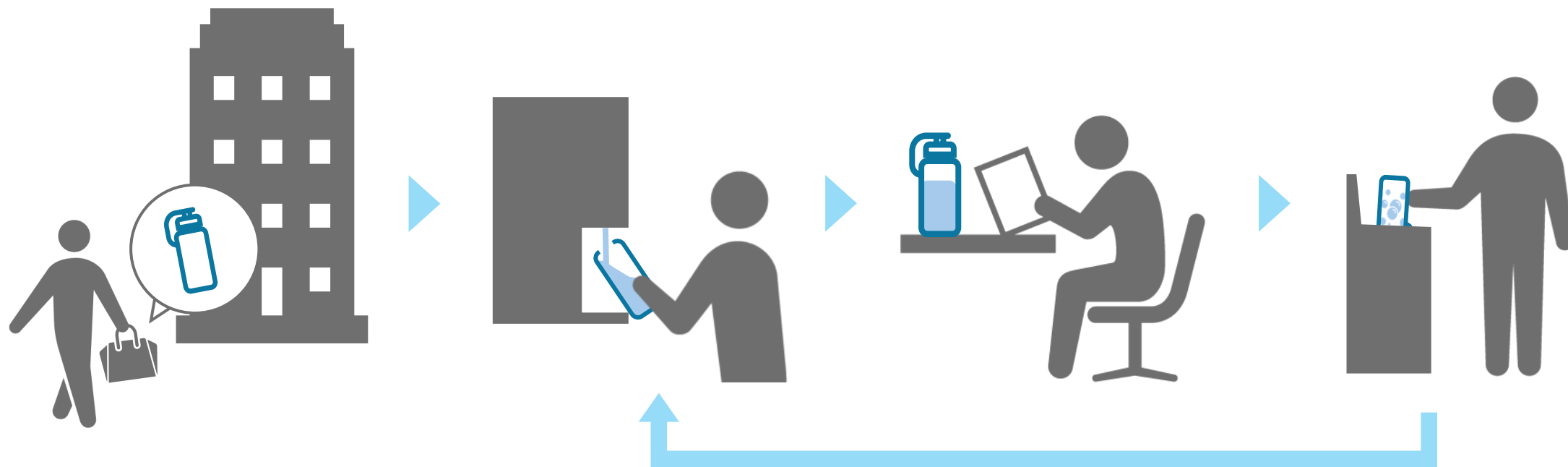
サブスク



■ 利用イメージ

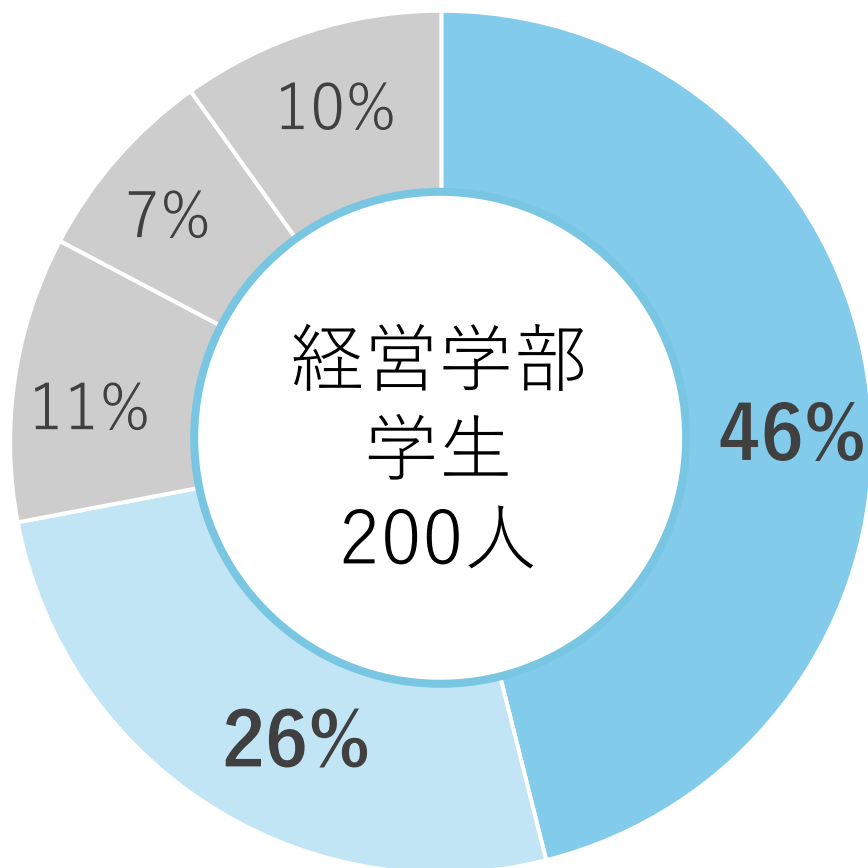
空のマイボトルを持参

好きな飲み物を入れて
飲み終わったら洗浄！



■ サービス需要

ボトルメイトを利用したいか



- とても思う
- やや思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 思わない

■ 先行事例 【近畿大学】

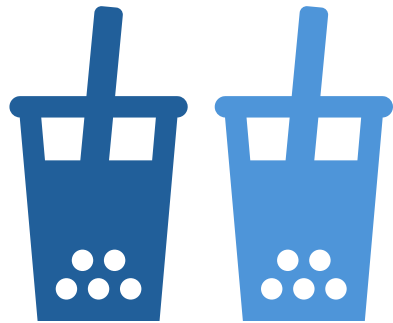
サービスの内容は似ているが伸び悩んでいる

要因

- ペットボトルを購入する生徒が多い
- お金を払って環境問題に貢献することの抵抗感
- 環境問題に興味がある学生を惹きつけられなかった

課題解決のアイデア

豊富な
ドリンクの種類



殺菌可能な
洗浄機



学生だけでなく
企業向けに展開



■ サービスの提供先と提供場所

大学生・大学職員・会社員

設置場所を日常的によく利用する人

大学エントランス・企業

その建物で一番人が多く利用する所

■ 料金

¥ 1,000/月

月12回利用（1回約**83**円）

¥ 1,700/月

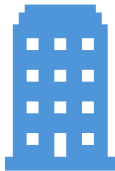
月24回利用（1回約**70**円）

¥ 2,700/月

飲み放題利用

■ 利益計画

黒字転換

	1年目	2年目	3年目
導入力所数	1力所 	2力所 	2力所 
利用者合計	300人	650人	800人
売上	4,014,000	8,370,000	10,332,000
税引き後利益	△2,723,000	△1,138,000	30,000

※原価率は2.9%。大学導入の場合、長期休暇中は休業

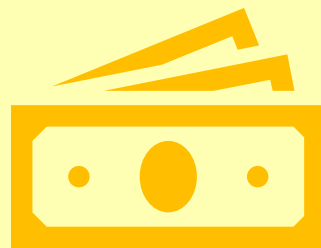
環境にも人にも利益を

CO2削減



ペットボトルと
マイボトルでは
1年間のCO2排出量
が**30分の1**に

利益還元



利益の**5%**を
設置施設に**還元**
設置側にも利益を

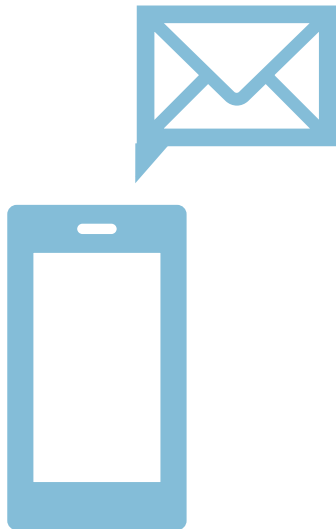
満足度向上



給水・洗浄が手軽
利便性が高まり、
快適に過ごせる

■ 利用促進と認知拡大に向けて

大学メールや
SNSで情報を
発信



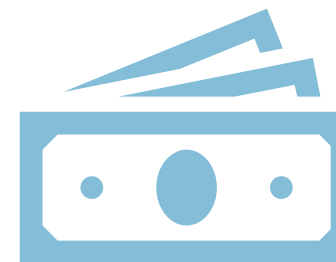
機械の体験
イベント



ポスター掲示

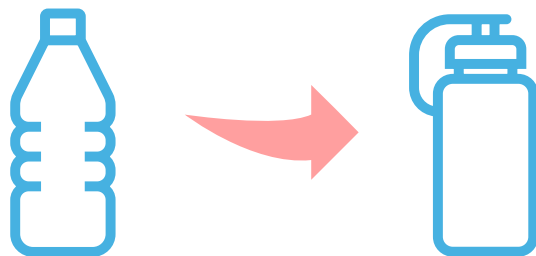


新学期に
割引キャンペーン



■ ま と め

このサービスを普及させることで
ペットボトルの削減につながり
マイボトルの**習慣化**に！





BottleMate

ご清聴ありがとうございました